

きらめく  
まちビト

×  
藤垣 君子

令和2年度の北海道産業貢献賞を農業関係功労者の部門で受賞した藤垣さん。平成9年に指導農業士の認定を受け、新規就農者や農業研修生の指導や女性農業従事者の活躍に大きく貢献されてきました。受賞を通じての思いや今後の目標などについてインタビューしました。



一生懸命やってきたことが女性農業従事者活躍の先駆けに

受賞の感想は

まさかこのようになすごい賞を受賞できると思っていませんでしたので、ありがたきお受けさせていただきました。受賞につながる活動としてどんなことをされてきたのですか

指導農業士の活動をずっと続けてきたことだと思っております。平成9年に指導農業士になったときは、上川管内で女性の指導農業士が2人しかおらず、女性という立場で話をする機会がほとんどありませんでした。北海道主催の研修会などに参加して、そこにおられる女性の方と楽しく意見交換や情報共有ができたので、指導農業士を続けることができました。

そのほかどのような活動をされてきましたか

名寄地区で「きらきらネットワーク「夢」という農村女性が集うグループに所属して、その代表をしています。上川管内の農村女性ネットワーク「ほほえみ」の会長をしていたときもあり、多くの女性のパワーを受けてきました。また名寄地区グリーンアドバイザー協議会という

名寄地区の指導農業士と農業士による組織に、「スミレの会」という女性グループを立ち上げ、精力的に行事などを行っています。

指導農業士の活動について

基本は担い手不足解消の取り組みやその育成で、いろいろな方に農業の良さを発信することが主な活動です。食育を目的とした、農業を体験できるツアーを企画し、トウモロコシやスイカなどの収穫を通じて食について考える機会をつくり、参加した子どもたちにはすこ喜んでもらえたと思っています。

女性農業従事者として重要なことは

経営の内容を家族全員が把握した中で、仕事をきちんとやるのが一番必要なことだと思います。例えば、食材を100円で売るためには、その中で経費がどうかかかっているのかを知っているのと知らないのとで、大きな違いがあると思います。また力仕事では男性に劣りますが、経営や販路についてなど、女性が関わっているかによって農業経営は絶対変わっていくと思います。

これからの目標

自分が人の上に立つのではなく、周りの人たちが活発に活動できるように、根この役割を果たしたいと強く思っています。なんでもかんでも口を出したり、やってみたりせず、裏方のようなサポートでみんなを持ち上げていける活動をしていきたいです。

市民の皆さまにひとこと

おいしい農産物を一生懸命作っている農家さんが多いので、ぜひ目を向けてほしいです。道の駅や直売でも名寄の食材を扱っていますので、地元食材の良さを皆さんと一緒に発信できればと思います。

Profile

藤垣 君子 (ふじがき きみこ)

中名寄出身、結婚を機に農業に従事。夫婦で4人の男の子を育て上げ、現在は風連瑞生地区で三男夫婦とリリー・ファームを経営。「リリー」は昔作っていたゆり根の英語名「Lily bulb」から命名。主に花を栽培しており、アスパラなどの旬な食材も作付けしている。趣味は習字。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。